

共生社会
政策統括官 食育推進

[○サイト](#)

[食育推進トップ](#) > 食育推進基本計画リーフレット

食育推進基本計画リーフレット(子ども向け)

食育の応援団

みんなも今日から自分の食べ物のことを考えてみようよ。
食べ物がどこから来たのかなど、わからないことや気になることがあったら、お父さん、お母さんや先生、友だちなどと話したり聞いてみたりしてみよう。

平成18年度の食育の標語が決定したよ!!

★最優秀賞
「いただきます みんなでたべたら おいしいね」
白南 信仁くん(長岡飛翔高等学校 5年生)

優秀賞
「私のこと もっと知りたい 手びたい」
佐藤 菊實さん(高瀬中学校)

優秀賞
「朝食は 今日が始まる 出発点」
野木 京平さん(東加賀郡中野市 中野中学校3年生)

内閣府食育推進室
〒100-8970 東京都千代田区麹町2-1-1 三枝ビル4階405室
TEL 03(3681)-1180 FAX 03(3681)-1037
<http://www8.cao.go.jp/syokuiku/index.htm>

もっと知りたい場合は、
ネットからでも
調べできるよ！

みんなで食
たの
楽し

～みんなを応援する食育

いただきます
みんなでたべたら

毎年6月は「食育月間」 毎月1

いま、なぜ食育なんだろう？

1 朝ごはん、昼ごはん、夕ごはん、きちんと食べているかな？

朝ごはんを食べない子が増えているけど、お腹がすいちゃって、やる気が出ないよね。



5 食べ物がどこで作られているか知っているかな？

外国から輸入された食べ物が60%にもなってるんだ。ずっとこのままで良いのかな。



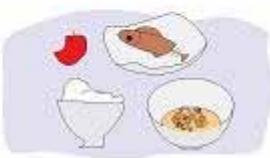
2 ご飯、野菜、肉、魚など、何でも好き嫌いせず食べているかな？

食べ物が持つ栄養はみんな違うんだよ。バランスよく食べると病気にならないパワーが出てくるよ。



6 食べ残してないかな？

食べ物はもともと生きていたんだよ。そんな食べ物のことや、食べ物を作ってくれた人、運んでくれた人、調理してくれた人の労力を忘れちゃいけないよ。



3 無理なダイエットしていないかな？

しっかり食べないと骨が弱っちゃうよ。大人になってから骨が折れやすくなるかもしないよ。



7 みんなの住んでる所で昔から伝わる料理を食べたことあるかな？

長い時間かけて親から子に、その地域や家で代々受けがれてきた料理だから、いつまでも残したいね。



みんなの元気な

食育の計画には、みんなの健全な生活のために家や学校、地域などでいろいろな取り組みがあります。これは、みんながずっと元気で生活することを願って作られた計画なんだ。さあ、どんな内容か見ていきましょう。

お家で食育をすすめよう

- 食育をするために必要ないろいろな知識を持った栄養教諭という先生
- 家庭内、親子での学習、新規の時間などで食事の大切さを伝えます。
- 健康づくりのための楽しい食生活を指導します。
- 看護さんやあうちゃんが必要な栄養をとることができるよう指導します。
- 親父さん、お母さんや先生などにもパソコンのとれた食事や楽しく食事を大切さを伝えます。

学校などで食育をすすめよう

- 食育をするために必要ないろいろな知識を持った栄養教諭という先生
- 家庭内、親子での学習、新規の時間などで食事の大切さを伝えます。
- 栄養など食べ物に関する知識ができるようにします。
- 学校給食にみんなの住んでいる地域でとれた食べ物を使います。
- 食育市の子どもの健康づくりのための食事を応援します。

地域で食育をすすめよう

- 古来を中心とした栄養バランスの良い日本の食生活の良さを伝えます。
- 何をどれだけ食べたら良いかわかる「食事バランスガイド」などを知らせます。
- 食育についていろいろな知識を持つ人たちやお医者さん、スパーカー・レストランなどお召しの人たちと協力します。

みんなの運動として食育をすすめよう

- 毎年6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」にしました。
- ボランティアなど多くの人たちと一緒にします。
- 自転車をどう考えているか、どんな自転車をしているか調べます。
- 大人や子どもなど、どんな人が何を切りたがっているかを考えて、わかりやすく食育のことを伝えます。

生産者の人たちと会って農業や漁業のことをもっと知る

- 生産者の人たちと話したり一緒に出来るや町屋などを育てる機会をつくります。
- 農業などを体験できるよう生産者の人たちに応援してもらいます。
- みんなが住んでいる地域でとれた食べ物をそのまま食べたり使ったりしたりした食べ物を肥料などとしてむだなく利用していきます。

日本の食文化を受けついでいこう

- 料理教室などでもみんなが住んでいる地域の昔ながらの材料を紹介します。
- 学校給食で昔ながらの材料を紹介します。

食べ物のことを語べたり、海外の人たちと交流しよう

- 食べ物の安全について、いろいろな人たちと意見交換します。
- 食べ物の安全や栄養について、役に立つことを知らせます。
- 食事と病気との関係や食べ物はどこでどのように作られているかなどを語ります。
- 海外の人たちに日本の食育について伝えます。

食育推進基本計画リーフレット(一般向け)

食育の推進体制

国民運動として食育を推進

家庭 学校 地域

(地域に根ざした食育コンクールも)

平成18年度の食育推進に関する標語が決定!!

最高賞
「健康は 日々の食事の 積み重ね」
内田 和子 様(神奈川県)
優秀賞
「伝えよう 食べる喜び 大切さ」
高田 千草 様(埼玉県)

子ども賞
最高賞
「いたたきます みんなでたべたら おいしいね」
白石 真仁 様(長崎県対馬市 勉強体験館 5歳)
優秀賞
「食のこと もっと知りたい 学びたい」
佐藤 瑞貴 様(高島市)
優秀賞
「朝食は 今日が始まる 出発点」
西木 茂平 様(愛媛県瀬戸市 青春中学校3年生)

内閣府食育推進室
〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館
TEL (03)3581-1180 FAX (03)3581-1057
ホームページ <http://www8.cao.go.jp/syokuiku/index.html>

みんなで食い 楽し

～食育推進基本計画が
実現する！



健康は
日々の食事の

毎年6月は「食育月間」毎月1



Q いま、なぜ食育なのか？

A 食をめぐる現状

- ①栄養や生活習慣病の現状
- ②栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の現状
- ③「食」の安全上の問題の発生
- ④過度の瘦身志向
- ⑤「食」を大切にする心の欠如
- ⑥「食」の海外への拡張
- ⑦伝統ある食文化の喪失

朝食の欠食率（子ども）

●朝食をほとんど食べていない児童の推移

年齢	平成17年度	平成18年度
小学生（5年生）	2.7%	4.1%

欠食の率（年齢）：「現地が少ないから」46.9%、「現地がいいから」30.7%

朝食の欠食率（大人）

●朝食をほとんど食べていない人の割合

年齢	平成17年度	平成18年度
20代	31.1%	34.7%
30代	30.6%	33.7%
40代	27.5%	29.7%
50代	24.5%	26.7%
60代	21.5%	23.7%

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）

●内臓脂肪量多くこれに伴う高血圧、高血圧又は高脂血症を複数に発症させている状態をメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）という。

糖尿病有病者の推移（推計値）

年齢	平成17年度	平成18年度
20代	800人	1000人
30代	900人	1100人
40代	1100人	1400人
50代	1300人	1600人
60代	1500人	1800人

A 食育の必要性

●食育の推進により国民の健全な食生活の実現を図ることが必要

●特に、子どもにとって食育は生涯にわたる健康づくりの基礎

「食育」とは？

●生長する上での基本であって、知性、情操及び体育の基礎となるべきもの

●様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

A 食育基本法

食をめぐる現状に対応し、食育を国民運動として推進するために食育基本法が制定

＜主な内容＞

- ①国・地方公共団体等関係者の責務
- ②食育推進会議（会長：内閣総理大臣）による基本計画の策定
- ③地方公共団体による推進計画の策定
- ④家庭、学校、地域等様々な分野における基本的指針

はじめに

●計画期間は平成18年度から22年度までの5年間

食育の推進に関する施策についての基本的方針

- ①国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成
- ②食に関する意識の啓発と理解
- ③食育推進会議の運営
- ④子どもの食事における保護者、教育関係者等の役割
- ⑤食に関する各種活動と食育推進活動の実施
- ⑥伝統的な食文化、農山漁村と開拓した地元産への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
- ⑦食生活の安全性の確保等における食育の役割

食育の推進の目標に関する事項

- ①全員に心地よい持ついる家庭の現状（70%→80%）
- ②朝食を欠食する国民の割合（子供で4%→0%、20代男性30%→15%、30代男性23%→15%）
- ③学校給食を用ひる幼稚園施設を使用する割合（21%→30%）
- ④「食育バランスガイド」等を参考に食生活を送っている国民の割合
- ⑤内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を実現している国民の割合
- ⑥食育の推進に携わるボランティアの数（20万名）
- ⑦食育ツールの取組がなされている自治体の割合（42%→80%）
- ⑧農山漁村の安心感と開拓した地元産への貢献（60%）
- ⑨推進計画を作り実施している自治体の割合（基準割合100%、市町村別）

食育の総合的な促進に関する事項

- ①家庭における食育の推進
- ②学校、保健所等における食育の推進
- ③地域における食生活の改善のための取組の推進
- ④食育推進運動の実施（食育月見：毎年6月、食育の日：毎年1月）
- ⑤農業者と消費者との交流の促進、農場と開拓した地元産の販売の奨励のための取組のための活動への支援等
- ⑥食品の安全性、栄養その他食生活に関する調査、研究、情報の調査

食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に行なう

●都道府県等による推進計画の策定促進、基本計画の策定

みんなで食育に
一少なくとも週1日は家族そろって楽しむ

国民の食育への取組状況

取組状況	割合
食育活動に参加していない	11%
食育活動に参加している	40%
食育活動に参加していない	39%
食育活動に参加している	11%

平成18年度食育標語入り 食育推進基本計画リーフレット(子ども向け 表面) 印刷用[[PDF形式: 499 KB](#)]

平成18年度食育標語入り 食育推進基本計画リーフレット(子ども向け 裏面) 印刷用[[PDF形式: 929 KB](#)]

平成18年度食育標語入り 食育推進基本計画リーフレット(一般向け 表面) 印刷用[[PDF形式: 346 KB](#)]

平成18年度食育標語入り 食育推進基本計画リーフレット(一般向け 裏面) 印刷用[[PDF形式: 767 KB](#)]

注: ファイルの容量が大きいため、ダウンロードに時間がかかりますのでご注意下さい。

[食育推進トップ](#) > 食育推進基本計画リーフレット